

課コード	000600	作成日	平成20年3月31日
所属名	市民生活課	作成者	本多素

政策名(上位目的)
安全・安心な市民生活の確保
目の名称
市民生活費

計画コード	分野	部	課	施策・事務事業		
	款	項	目	事項		
科目コード	06	01	54	16	00	00
(旧科目コード)	06	01	55	04	05	00

事業名			戦略性
地域防犯活動助成事業			
事業概要			
目的	(対象、意図、求められる結果)	開始年度	終了予定年度
自分たちのまちを犯罪の起きにくい明るく住みよいまちにするために、地域ぐるみで自主的防犯活動を行う組織(地域安全会議)に対し、補助を行う。		平成 16 年	年
活動内容			
<p>事業内容は、地域ぐるみの自主的防犯活動を促進するため、当該活動を行う地区安全会議に対し補助金を交付するものです。補助の内容は、原則として、1団体につき1回限りで、70万円を限度とします。</p> <p>この地区安全会議は、概ね中学校区程度の範囲における複数の自治会(町内会)組織を中心に、犯罪の起きにくい地域づくりを目的として、住民、事業者、学校などにより自主的に結成された組織です。</p> <p>平成19年度までに市内30地区でこの地区安全会議が結成され、下校時の「通学路の見守りパトロール」や朝夕の犬の散歩にあわせた「ワンパトロール」など、地域にあった様々な取り組みが行われています。</p> <p>補助金は、防犯パトロールに使用する反射ベストや帽子、啓発用の看板やのぼり旗などに使われています。</p>			
事業の性格分類	実施根拠(法令、条例等)	新市建設計画事業	ワークショップ提案事業
義務的事業 任意的事業	浜松市地域防犯活動事業費補助金要綱		
事業運営方法			
直営	一部委託	全部委託	補助等

		H17年度決算	H18年度決算	H19年度最終予算	H20年度当初予算	H21年度計画額	H22年度計画額	前期4年間計
財源内訳	事業費(千円)	4,456	6,000	7,000	2,000			
	国庫支出金							
	県支出金	2,914	4,550	5,000	2,000			
	市債							
	受益者負担分(使用料等)							
内訳	その他							
	一般財源	1,542	1,450	2,000	0			
内訳	人件費	8,000	8,000	8,000	8,000			
	人工単価	1.00	1.00	1.00	1.00			
計	年間経費	12,456	14,000	15,000	10,000			
	受益者負担率	0	0	0	0			

性質別内訳		人件費	扶助費	公債費	物件費	維持補修	補助費等	積立金	投資及び出資金	貸付金	繰出金	投資的経費	公営企業
平成18	8,000						6,000						
19	8,000						7,000						
20	8,000						2,000						

定量評価						
指標1	単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
地区安全会議の組織化	目標	%	28	42	57	71
	実績	%	28	44		
年間経費(事業費・人件費の合計)	千円	14,000	15,000	10,000		
単位当たり経費	千円/単位	500	341	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
単位当たり経費変動率	%		68.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

指標2	単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	目標	%				
	実績	%				
年間経費(事業費・人件費の合計)	千円	14,000	15,000	10,000		
単位当たり経費	千円/単位	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
単位当たり経費変動率	%		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

定性評価			
過年度の実施内容			
<p>地域ぐるみで自主的防犯活動を行う組織(地区安全会議)に対し、補助金を交付した。平成18年度新規8地区、継続3地区に補助金を交付した。</p>			
事前評価	必要性	(分析・理由)	
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td> A 高い B ↑ C ↓ D 低い </td> </tr> </table>	A	A 高い B ↑ C ↓ D 低い
A	A 高い B ↑ C ↓ D 低い		
事前評価	行政関与の妥当性	(分析・理由)	
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td> A 高い B ↑ C ↓ D 低い </td> </tr> </table>	A	A 高い B ↑ C ↓ D 低い
A	A 高い B ↑ C ↓ D 低い		
事後評価	有効性	(分析・理由)	
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td> A 非常に有効 B やや有効 C あまり有効でない D 有効でない </td> </tr> </table>	A	A 非常に有効 B やや有効 C あまり有効でない D 有効でない
A	A 非常に有効 B やや有効 C あまり有効でない D 有効でない		
事後評価	効率性	(分析・理由)	
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td> A 単位当たり経費が前年比マイナス B 単位当たり経費が前年とほぼ同じ C 単位当たり経費が前年比プラス D 評価できない </td> </tr> </table>	A	A 単位当たり経費が前年比マイナス B 単位当たり経費が前年とほぼ同じ C 単位当たり経費が前年比プラス D 評価できない
A	A 単位当たり経費が前年比マイナス B 単位当たり経費が前年とほぼ同じ C 単位当たり経費が前年比プラス D 評価できない		
今後の事業展開			
規模		(分析・理由)	
現状	<table border="1"> <tr> <td> 拡大・充実 現状のまま継続 縮小 廃止 </td> </tr> </table>	拡大・充実 現状のまま継続 縮小 廃止	<p>市内でも窃盗や暴力事件が多発しているなかで、住民の自主的な防犯活動への取り組みを一層支援・推進する必要がある。</p>
拡大・充実 現状のまま継続 縮小 廃止			
具体的な改善内容・事業の方向性等			
<p>(問題意識) 安心、安全のまちづくりを進めていく上で、地域住民の自主的防犯活動の果たす役割は大きい。現在、本市においては、地域の自主的防犯活動を行う組織として30の「地区安全会議」が結成されているが、全市的にみて、まだ少ない状況にある。</p> <p>この「地区安全会議」の活動に対し、各団体に1回に限り、県の助成制度を利用した助成を行ってきているが、この県の制度が本年度で終了することとなっている。</p> <p>今後において、県制度が廃止されても市単独の助成制度を設け、助成を継続していくことが好ましいのか、助成制度なしで全て地域の自主的な活動に委ねるのが良いのか、仕分けをしたい。</p> <p>(想定結果) 市の実施が適当なもの</p>			
(備考) 事業に対する市民・市民活動団体・事業者・議会からの指摘			
平成15年11月、平成17年2月議会にて質問有			